

邑南町空家等対策計画（素案）に対するご意見と邑南町の考え方

【案 件】 邑南町空家等対策計画（素案）（令和5年度～令和9年度）

【期 間】 令和5年1月25日（水）～令和5年2月15日（水）まで

【提出意見数】 2件

※原文のまま記載しております。

No.	項目	ご意見	邑南町の考え方
1	【概要版】 「3」現状の欄の ところから「5」の ところ で諸課題について、 (1)から(6)の 全体的に。	・ 先ず住民に対して、近い内に現状説明と意見交換をして空家問題の共通認識を持つことだと考えています。他人事の感覚が多いではありませんか？	・ 令和5年度自治会長会で説明し、空き家等対策計画概要版を5月末に全戸配布します。 ・ 空家等に対する施策として、空家の「発生抑制」のため「町民及び空家等所有者の意識啓発」を進めることとしております。住民の皆様と空家の現状と課題についての共通認識を深められるよう、様々な機会を通じて、引き続き取り組んで参ります。
2	【本編】 26ページ用語解説（相続登記の義務化）	・ この内容について、知らない人が結構あるのではないですか？「公報・公聴」など住民の皆さんに周知させることが重要なことと考えています。あわてることのないように。	・ 2024（令和6）年4月1日から相続登記の申請が義務化されるため、広報やHPにより今後周知を行ってまいります。
3	【本編】 17ページ除却（解体）に関わる ところ	・ 解体費用の補助について、具体的に例えば3割や5割の負担をすとか数字を示して促進することも考える必要があると考えています。速やかに。	・ 解体費用の補助制度については、解体促進に繋がるよう具体的な補助割合も含めて令和5年度で検討する予定です。また、対象は限られますが、令和2年度より「邑南町跡地活用のための空き家解体支援事業」を実施し、1件上限100万円、補助率10/10の解体費補助を行っています。

4	<p>【本編】 20ページ5. 空家の施策。指標のところ、空家等に関すること。6項目より。</p>	<p>・ その中に町民議会でも問題提起された「お試し住宅」の考え方も取り入れ、実現の方向で考えてみる必要があると考えています。</p>	<p>・ 邑南町では、住まい、とりわけ賃貸物件が不足しており、邑南町に移住したいとご相談いただいても、ご希望に合った住まいがご案内できず移住に至らないケースが出ております。そのため、賃貸住宅の整備を優先して取り組んでいます。</p> <p>令和3年より「邑南町民間賃貸住宅建設(改修)支援事業」を実施しており、改修費の1/2、上限400万円の補助を行っています。</p> <p>なお、この事業は個人並びに法人で空き家を改修してお試し住宅を整備される場合にも活用いただくことが可能です。</p>
5	<p>【本編】 20ページ(2) 実施体制、21ページ表3庁内体制のところ。</p>	<p>・ タテ割方式の組織ではなく、横断的(空家に関わる事案)組織を創り「一本化・一体化」した体制にしてワンストップで遂行できる方法にする。熟考下さい。</p>	<p>・ 空家相談対応は、法務、税、建築、不動産取引等の専門的かつ幅広い知識が複合的に求められる場合が多く、そうした相談をワンストップで対応できることが望ましいのですが、本町では体制的に難しいのが現状です。そのため、総務課と地域みらい課を総合窓口として位置づけ、内容に応じて表3のように各課へつなぎます。なお、専門的な内容については、島根県司法書士会をはじめとする各士業団体や(一財)島根県建築住宅センター等の関係団体と連携していきたいと考えています。</p>

6	26ページ用語解説(住宅用地の特例の欄)	<ul style="list-style-type: none"> ・ このことについて、知らない住民が多いのではないかと。周知させるため、「公報・公聴」を充実させて、周知を深めることが大切と考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅用地の特例については、家屋評価の際に資料を交付して、土地・家屋を含めた税負担の説明を行っております。今後も納税者に固定資産税の理解をいただけるよう周知に努めてまいります。(また、住宅用家屋の除却による住宅用地特例については、住宅用家屋の税負担の減少部分があるため、大きな税負担は生じないものと考えております。)
7	空家の活用法	<p>「おうちカフェレストランありがとう」(仮名)の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暖かいおうちのような場所で、食事やカフェを楽しむ場所を求めていると思います。カフェ&レストラスペースに改修し、道の駅の新鮮野菜を使って10種類以上の惣菜を作る、惣菜の種類も色々変化をつける(案)。 <p>今もこれからも一人暮らしの人は増え続けるので、こいう場所をどんどん活用してもらおう。改装される際は、冷蔵庫、冷凍庫スペースを広く取り、食品ロスを少しでも少なくしてもらおう、又、調理師専門学校を卒業して何年か修業したのち、独立したいと考えておられる人もいますので、こいう所に情報が届くようにしておく。低料金の家賃で貸出し、もしも災害がおきた際には、居場所を提供するその時には、ボランティアとして活躍してもらおう。駐車場も広く取られる場所があれば幸いです。私には町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少等により空家が今後増加していくことが見込まれます。空家の今後の施策を考えていく中で、ご提案いただいた内容を参考にしながら進めていきたいと考えています。

		<p>の予算がどうなっているかが、さっぱりわからないのですが、こういう場所があれば、うれしく思います。カフェ・レストランありがと1ハウス、カフェ・レストランありがと2ハウス、カフェ・レストランありがと3ハウスなど各店舗ごとに工夫を凝らす。</p>	
8	その他の案	<p>「足湯で茶茶茶」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空家の外では足湯(有料)内ではカフェ。足湯は町内外問わずコミュニケーションがとれ、邑南町でのいこいの場になると思います。邑南町に行ったら、まず道の駅、それから行く所が、ちょっとなとなりますと客足も増えないので①道の駅②お食事カフェ、そして足湯とちょっと他ではあまりないので考えてみました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少等により空家が今後増加していくことが見込まれます。空家の今後の施策を考えていく中で、ご提案いただいた内容を参考にしながら進めていきたいと考えています。